

たかす町 社協だより

は
ぐっ



2025 7月号



特集

令和6年度のおしごと報告（事業報告・決算報告）…1～2ページ

令和7年度のおしごと計画（事業計画・予算）…3～5ページ

元気いっぱい！たかす de 寺子屋 の仲間たち

■ はじめに

「いつまでもこの町に住み続けたい」

それは鷹栖町で暮らすすべての住民の共通の願いです。私たち鷹栖町社会福祉協議会は、その願いに寄り添い、誰もが安心して暮らし続けられるまちづくりを使命として活動しています。日々の暮らしの中で、誰もがふとした困りごとや不安を抱えることがあります。「困った」と言い出せない声なき声にも気づき、わずかな変化にも手を差し伸べること。それが私たちの役割です。

■ 令和6年度の主な取り組み

1. 信頼される相談・支援体制の構築

本年度は、住民の「困った」の声を確実に受け止め、解決へと導く体制づくりに力を注ぎました。4月より「はぴねす」1階を困りごと相談窓口、2階をボランティアや就労支援の相談窓口とし、専門職員を配置。どんな小さな悩みも丁寧にお聴きし、一緒に考え、寄り添いました。生活困窮者には緊急食糧支給やフードバンク活用、貸付事業や生活保護申請への伴走支援など、「今すぐ必要」とされる支援を素早く届けました。さらに、「働きたい」「何か役に立ちたい」という思いに応える場づくりにも取り組みました。

2. 地域で見守る温かいまちづくり

困っていることに自分から声を上げにくい方もたくさんいます。私たちは福祉委員を中心に、283世帯338名の要援護者宅への週1回の見守り、ふれあい訪問員による65歳以上ひとり暮らし宅248名への月1回の訪問を実施しました。民生委員や地域包括支援センターと連携し、「いつもと違う」に気付ける仕組みをつくっています。さりげない見守りや声かけが、孤立の防止や早期の課題発見につながっています。

3. すべての世代が活躍できるまちへ

私たちは、年齢や立場を問わず一人ひとりが「まだまだやれる」「役に立てる」と感じられるまちを目指しています。高齢者事業団事業を継承し、全世代型の就労支援をさらに強化。386件の相談を受け、320名が登録。そのうち10代から80代まで45名が町内企業で新たに働き始め、9名がサポーターとして地域活動に参加しています。「誰かの役に立つ」「生きがいを感じる」ことが、健康や自信、そして町全体の活力へとつながっています。

■ 令和7年度への決意

令和7年度からは『第3期鷹栖町地域福祉実践計画』に基づき、

- ① 住民同士が支え合い孤立しない・させないまち
- ② “お互い様”の心で困りごとを一緒に解決できる安心なまち
- ③ いくつになっても誰もが活躍できるまちの実現に向け、これまで以上に地域とともに歩んでまいります。

■ 決算概要と今後の経営

令和6年度は高齢者事業団事業の継承により収益が大幅増、4,766,681円(正味3,547,623円)の黒字と安定した運営となりました。平成28年度から9期連続黒字で、経営の安定とともに、次世代を見据えた積極的な投資も可能になっています。令和7年度は職員体制のさらなる充実や、住民ニーズに応える新たな事業展開など、未来への一歩を踏み出します。

■ おわりに

鷹栖町に暮らす誰もが「この町ですっと暮らしたい」と思えるように。

ひとりひとりの小さな困りごとにも寄り添い、支え合い、共に歩む協議会であり続けます。今後とも皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。



令和6年度 決算報告

■ 貸借対照表 (令和6年4月1日～令和7年3月31日)

単位：円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	合 計	科 目	合 計
流動資産	19,519,422	流動負債	5,965,241
預貯金	14,675,814	事業未払金	2,055,200
未収金	3,935,488	未払費用	2,490,706
未収補助金	341,000	未返還金	322,091
立替金	116,320	預り金	3,063
事業区分間貸付金	450,800	職員預り金	540,576
固定資産 (①+②)	19,973,849	事業区分間借入金	450,800
①基本財産	1,000,000	仮受金	102,805
定期預金	1,000,000	固定負債	12,102,564
②その他の固定資産	18,973,849	退職給付引当金	10,193,719
車両運搬具	1	退職給付引当金共済会退職給付引当金	1,908,845
器具及び備品	4	負債の部合計	18,067,805
減価償却累計額△	0	基本金	1,000,000
ソフトウェア	0	基金	6,500,000
退職給付引当資産	10,193,719	福祉基金	3,000,000
退職給付引当資産共済会退職手当	1,908,845	ノーマライ基金	3,500,000
福祉基金積立資産	3,000,000	次期繰越活動増減差額	13,925,466
ノーマライ基金積立資産	3,500,000	(うち当期活動増減差額)	6,109,963
貸付事業貸付金	361,490		
その他の固定資産	9,790	純資産の部合計	21,425,466
資産の部合計	39,493,271	負債及び純資産の部合計	39,493,271

■ 資金収支計算書 (令和6年4月1日～令和7年3月31日)

単位：円

勘 定 科 目	決 算 額	勘 定 科 目	決 算 額
会費収入	1,452,000	人件費支出	33,013,358
寄附金収入	2,675,789	事業費支出	17,383,672
北海道社会福祉協議会補助金収入	2,726,318	事務費支出	9,460,629
鷹栖町補助金収入	6,041,000	貸付事業支出	458,000
共同募金配分金収入	930,250	共同募金配分金支出	930,250
鷹栖町受託金収入	45,343,414	積立資産支出	1,856,233
貸付事業収入	544,000		
事業収入	5,043,095		
受取利息配当金収入	14,455		
積立資産取崩収入	109,140		
その他の活動による収入	2,989,362		
事業活動収入合計	67,868,823	事業活動支出合計	63,102,142

当期資金収支差額 4,766,681円

令和7年度 社会福祉法人 鷹栖町社会福祉協議会



基本理念

誰もがつながり、安心、健康で
「幸せ」に暮らせる
『あったかす』なまちを目指して



キャッチフレーズ

いつまでも みんなの居場所 あったかす
～ たくさんの かけがえのない ストーリー ～

住み慣れた鷹栖町で、誰もが「ずっと住み続けたい」と思えるまちにしていくなために、私たちは郷土愛を育み、この町が心の拠り所となることを目指します。

住民同士がつながり合い、「ひとりじゃない」と安心できる場所や、誰もが活躍できる機会を大切にし、一人ひとりの生活に寄り添った“かけがえのない物語”が紡がれる、心温まるまちづくりを進めます。



ミッション

いつまでも 住み続けることが
できるまちを創る



事業内容

私たち鷹栖町社会福祉協議会は、“つながる”と
感じられるまちを住民の皆さんと一緒に築くため、

地域実践プロジェクト

住民同士のつながりが
ある、孤立しない・
させないまちを作るために
“つながる”



1. 困りごとや悩みごとを 早期発見できるまち

- 福祉委員会事業の推進
- 見守り団体交流会の開催
- ふれあい訪問事業の推進
- 歳末たすけあい訪問事業の推進



2. 誰もが役割をもち、発揮できるまち・災害に強いまち

- 地域共生社会推進事業の推進（受託）
- 生活支援体制整備事業の推進（受託）
- 高齢者向け住宅生きがい活動援助員事業の推進（受託）
- 共同募金運動の推進
- 災害時支援事業の推進
- 福祉団体（鷹栖町老人会・遺族会・鷹栖町婦人ボランティアクラブ）事務局としての運営支援

3. 安心して子育てできるまち

- 学校運営協議会コーディネーター事業の推進（受託）
- 鷹栖小学校・北野小学校・鷹栖中学校と連携した福祉教育の推進
- 鷹栖高校と連携した地域体験活動の推進
- 高齢者疑似体験セット貸出事業の推進
- おうちにサンタがやってくる事業の推進
- スキーリサイクル事業の推進

事業計画



基本目標

1. 住民同士のつながりがある、孤立しない・させないまち

挨拶や訪問活動などを通じて住民同士が出会い、困りごとの解決や居場所づくりに取り組むことで、「孤立しない・させない」まちを目指します。

2. 困ったときは“お互い様” 困りごとをみんなで解決できる安心なまち

誰もが困りごとを自分ごとと考え、支え合う「お互い様」の気持ちを大切にします。

悩みをひとりで抱え込まずに済むよう、信頼される社協を目指し、相談しやすい環境づくりと、思いやりのある地域の風土を育みます。

3. いくつになっても活躍できるまち

年齢や経験に関わらず、それぞれのスキルや願いに応じて活躍できる場を広げます。

地域活動やボランティア、サポーター活動、働く場など、さまざまな機会をつくり、みんなが輝けるまちを目指します。

“安心”、そしてそれぞれの“活躍”を大切に、みんなが幸せを
『地域実践プロジェクトTAKASU("T・A・K")』を推進していきます。

地域実践プロジェクト

困ったときは“お互い様”
のもと 困りごとが解決
できる安心なまちを作る
ために



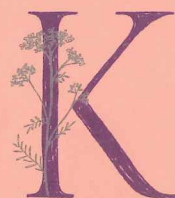
“安 心”

◎ 寄り添い続ける相談体制の構築

- 重層的支援コーディネーター事業の推進（受託）
- 集落支援員事業の推進（受託）
- 生活福祉資金貸付事業の推進（受託）
- 山下・神田金庫貸付事業の推進
- 日常生活自立支援事業の推進（受託）
- 緊急用食糧等給付事業の推進
- 就職面接時整容準備事業の推進
- ポータブルトイレ貸出事業の推進
- 買い物支援事業の推進（受託）

地域実践プロジェクト

いくつになっても活躍
することができるまちを
作るために



“活 躍”

◎ 誰もがイキイキと輝いているまち

- あったかステーション事業の推進
- 就労支援事業の推進
- ボランティアセンター事業の推進
- サポーター活動事業の推進
- 社会参加のきっかけづくり事業の推進（受託）
- 生涯現役地域づくり環境整備事業の推進
（※職員3名出向により推進）

これからも鷹栖町社会福祉協議会は、皆さん一人ひとりの幸せと、あたたかい地域の輪を大切に、「いつまでも住み続けたいまちづくり」を進めてまいります。

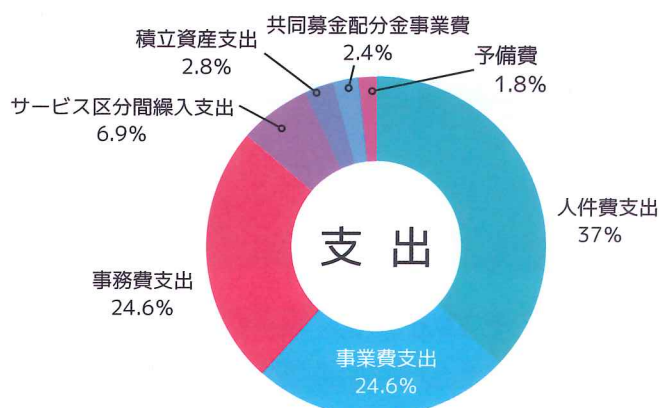
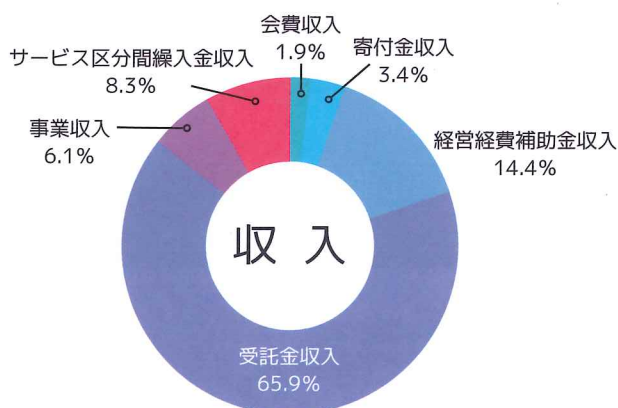
ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

令和7年度 予算

単位：千円

収入	
科目	合計額
会費収入	1,400,000
寄付金収入	2,500,000
経営経費補助金収入	10,693,000
受託金収入	48,826,000
事業収入	4,541,000
受取利息配当金収入	1,000
サービス区分間繰入金収入	6,125,000
合 計	74,086,000

支出	
科目	合計額
人件費支出	33,054,000
事業費支出	21,948,000
事務費支出	6,755,000
共同募金配分金事業費	2,115,000
積立資産支出	2,521,000
サービス区分間繰入金支出	6,125,000
予備費	1,568,000
合 計	74,086,000



新メツパー カモーンズ!!

趣味

温泉

スポーツ

野球



尾上 瑞葵 です

仕事をする上で大切にしている事は？

「笑顔で慎ましく」

鷹栖町の皆さまにメッセージをお願いします！

2歳頃から鷹栖町に住んでいたのですが、働き始めて色々な人に会うことで「こんなに多くの人に見守られていたんだ」と気づくきっかけになりました。なので、これから少しずつ鷹栖町に恩返しをしていきたいです！

好きな事

街中走って
る車を見ること

趣味

中学生の時から始めた
バレーボールです🏐
プレーするのも観るのも
好きです！



高 晃平 です

仕事をする上で大切にしている事は？

コミュニケーションです(^^)
しっかりとコミュニケーションを
図ることで、信頼関係を構築し、
良い仕事が出来ると思っています！

鷹栖町に貢献したいと思っている事は？

町民の皆さまが生きがいを持って、
楽しく安心して暮らせる町になる
よう皆さんと共に頑張ります！

鷹栖町の皆さまにメッセージをお願いします！

どんなことでも何かありましたから、
いつでもお声かけください！
よろしくお願いします(^^)

たかす町社会福祉協議会 メンバー紹介

「はぴねす」1階を困りごとの相談窓口、2階を『あったかステーション』として就労支援やボランティアの相談窓口を設置しています。お気軽にお越しください。

1階 法人本部事務局

- ・ 事務局長 梅澤 美幸 (正職員)
兼 地域づくりコーディネーター/学校運営協議会コーディネーター
/生活支援コーディネーター/鷹栖町生涯現役地域づくり環境整備推進協議会 事業統括員
- ・ 主 事 佐々木 来佐子 (正職員)
- ・ 主 事 尾上 瑞葵 (正職員)
兼 重層的支援コーディネーター/ボランティアコーディネーター/集落支援員
- ・ 経理事務嘱託 阿部 美紀子 (嘱託職員)



2階 あったかステーション

- ・ 係 長 山本 沙織 (正職員)
兼 あったかステーション センター長
/鷹栖町生涯現役地域づくり環境整備推進協議会 事業推進員
- ・ 主 査 高 晃平 (出向職員)
- ・ 主 事 青木 陽子 (正職員)
兼 鷹栖町生涯現役地域づくり環境整備推進協議会 事業推進支援員
- ・ 嘱 託 秋本 樹仁也 (嘱託職員)
兼 鷹栖町生涯現役地域づくり環境整備推進協議会 事業推進支援員
- ・ 生きがい活動援助員 林 亜矢子 (臨時職員)
- ・ 生きがい活動援助員 渡 鍋 千 晶 (臨時職員)
- ・ 生きがい活動援助員 小 玉 真 由 美 (臨時職員)
- ・ ふれあい訪問員 齊 藤 俊 夫 (臨時職員)
- ・ ふれあい訪問員 吉 村 千 映 子 (臨時職員)



ステキ！
働きびと
ご紹介

「朝のひと仕事、私の元気の源です」

— 川合さんの働き方から学ぶ元気の秘訣 —



川合 百合子さん

「朝4時半でもへっちゃらよ!」と、思わずこちらも元気をもらえるようなチャーミングな笑顔で語るのは、現役で働く89歳の川合百合子さん。週5~6日、早朝からの仕事にもかかわらず、いつも元気いっぱいです。

「動けることは本当にありがたいこと」と話し、朝が早いのも全く苦にならず、「体を動かしていると自然と元気が湧いてくるんですよ」と活き活きと語ります。

その秘訣は、「何でもしっかり食べて、よく動き、よく眠ること!」。特に朝ごはんは必ずしっかり食べてから出かけるのがこだわりで、一日の活力とエネルギー補給を大切にしています。

ご家族も「怪我だけは気をつけてね」と元気な川合さんを見守ってくれているそう。

仕事が終わったあとは、家の周りの草取りや片付けをしたり、テレビを観ながらおやつタイムを楽しむのが日課。

日本舞踊や演歌など、多彩な趣味にも親しんでいます。

「健康第一。無理せず自分のペースで。まずはしっかり食べることが元気の源」と力強くメッセージをくださいました。年齢にとらわれず、自分らしく毎日を楽しむ姿が、周囲にも元気を与えています!



あたたかいご寄付
ありがとうございました

香典返しご寄付

遠藤 ミエ子 さん	今出 みどり さん	目黒 明子 さん
佐藤 己之吉 さん	鈴木 なをみ さん	能島 洋子 さん
瀬川 しげ子 さん	田阪 伸一 さん	小林 公至 さん
奥山 雄一 さん	勝田 正見 さん	田村 史恵 さん
山内 孝良 さん	山西 勝一 さん	原 勝 さん

※お詫び

前回の広報誌にて、目黒明子様掲載が漏れておりましたことを深くお詫び申し上げます。

社会福祉事業へのご寄付

(株)安川測量 たいせつ土地家屋調査士法人 安川 義巳 さん
中央地区文化祭実行委員会 さん

タイトル「はぐっ」に込めた想い

今回から、社協だよりにサブタイトルが付き
ました。このサブタイトル「はぐっ」には、
ふたつのあたたかい意味を込めました。

ひとつは、英語の「hug (ハグ)」のように、人と人がやさしく寄り添い、心をぎゅっとつなぎ合うという想いです。誰かのぬくもりや、そっと寄り添う支え合い——それは福祉の原点であり、私たちが日々大切にしたい優しさです。もうひとつは、「育む(はぐむ)」のように、静かに見守りながら成長を応援する気持ち。

子どもたちを育てることも、高齢の方をそばで支えることも、地域をあたたかく包むことも、みんな「はぐっ」に込めた大切な側面です。

言葉にしなくても、そっと手を差し伸べたり、静かに寄り添ったり——そんな「やさしいまなざし」も、「はぐっ」の大切な一部です。

「はぐ」で終わらず、「はぐっ」と小さな「っ」をつけることで、まるで今ここでぬくもりを感じたような、ふっと心がやわらかくなる余韻も持たせました。

絵本のタイトルのような、親しみと記憶に残る可愛らしさを感じてもらえたら嬉しいです。

社協だより「はぐっ」では、地域のつながりや思いやり、子どもと高齢者の交流、ボランティアや支援活動など、読む人の心がほっとあたたかくなるような、そんな物語や情報をお届けしていきます。

どうか「はぐっ」を通じて、誰かを支えたり、そっと寄り添ったり——そんな優しさの輪が、皆さまの毎日にふわりと広がりますように。

社協だより
はぐっ